

令和6年第1回定例会総体質問通告事項

3 月 5 日	山根基嗣議員(市民連合)	質問方式:一問一答方式
	<p>1 国の新年度予算 2024年度の国家予算について</p> <p>(1) コロナ禍による疲弊からまだまだ回復の途上にある市内経済、諸物価の高騰や光熱費の増加など厳しい生活実態にある市民生活の実情を踏まえて、国の新年度予算についてはどのような認識か</p> <p>(2) 安全・安心な市民生活に向け、何を優先すべきなのか、税と社会保険料の役割分担も含め、徹底的な予算の組み換えが必要ではないか</p> <p>2 子育て支援 女性の転出などについて</p> <p>(1) 尾道市においては、女性の正規雇用は上昇しているか</p> <p>(2) 尾道市でも若い人が「ウェルビーイング」な生活を求めて、転出しているのではないか</p> <p>3 新年度における農業政策について</p> <p>(1) 新規事業となる、広島県が設置した「中間支援組織」への参画とありますが、この組織の事業内容と、これにより期待できる効果について</p> <p>(2) コロナ禍やウクライナ戦争、世界人口の増加や異常な気候変動による食料生産の不安定化などを機に、国内でも食料自給への関心も高まり、新たに農業を始めたいと思う人が増えてきている中、これまでどおりの政策では就農人口増や耕作放棄地の解消はなかなか進まないと考えます。そのため農業振興への予算規模を拡大すべきだと考えますが見解を</p> <p>4 教育について</p> <p>(1) 私の思う教育の原点は、「子どもたちと教職員の生き生きとした目の輝きをもって教育実践ができていくか」ということです。市長の教育理念と教育の原点について</p> <p>(2) 「市内小学校・中学校の経年劣化による安全面、機能面、衛生面などの不具合に早期に対応していきます。」と述べて、教育環境整備に重点を置いた説明でしたが、具体的なとりくみについて</p> <p>(3) 学校教育活動の中で英語を使う機会を増やすなどと語っていますが、具体的にどのようなとりくみをされるのか</p>	

3 月 5 日	(4) 子ども達の個性を尊重した子どもたちの学びを提供する教育実践であるインクルーシブ教育の推進についての考えと市内小中学校での進捗状況はどうか
------------------	--------------------------------------------------------------------------